

生活習慣病について⑨ 糖尿病の原因とは

明けましておめでとうございます。皆様にとって昨年はどんな年だったでしょう。私はというと、原稿の締め切りに追われる1年でした。(笑)

さて、今回こそは糖尿病の原因についてお話します。気合いを入れて読んでください。

人間の身体や脳が活動するためのエネルギー源はブドウ糖です。このブドウ糖は、腸で吸収されて肝臓へと運ばれ、血液に含まれて体のすみずみに届けられます。糖尿病は、このブドウ糖が増えすぎて血糖値が高い状態が続く病気です。では、なぜ血糖値が高い状態が続くのでしょうか。それは、すい臓の働きがポイントになります。すい臓は、インスリンを作りだして血糖を正常範囲に保つ役割をします。(人間のホルモンで血糖値を下げる働きがあるのはインスリンだけです)このインスリンがうまく作用せず、血糖が高くなってしまいます。

糖尿病には大きく分けて2つのタイプがあります。

【1型糖尿病】

すい臓のインスリンを作る細胞が壊され、体内のインスリンの量が足りなくなって起こります。原因はよくわかっていません。若い人に多く発症しますが、糖



尿病全体の割合で言うと5%以下ともいわれています。治療はインスリンを打つことしかありません。阪神タイガースの岩田投手はこのタイプの糖尿病で、インスリンを自分で打ちながらプロ野球選手として活躍しています。多くの人達(特にインスリン治療中の子供達)に勇気と希望を与えています。私の大好きな選手の1人です。

【2型糖尿病】

インスリンの出る量が少なくなって起こるものと、肝臓や筋肉などの細胞がインスリン作用をあまり感じなくなる(インスリンの働きが悪い)ために、ブドウ糖がうまく取り入れられなくなって起こるものがあります。食事や運動などの生活習慣が関係している場合が多く、わが国の糖尿病の90%以上はこのタイプに該当しています。

糖尿病と診断されても、生活習慣が悪いからそうなったのではない人たちもいるということを覚えていただくと幸いです。今回は糖尿病の診断(検査など)について解説していきます。



町長の
まちひとしごと
魅力発信
～ 事業所訪問 vol.10 ～
「有限会社 秩父ワイン」
町内には、優れた技術を持った会社が多く存在します。事業所の持つ技術や魅力を町長自ら訪問して、目で見、お話を伺い、住民に情報発信する「事業所訪問」を連載します。



製造工程の説明を受ける森町長

町長の見て・聞いて・話して

第10回の事業所訪問は、10月24日に有限会社秩父ワインを訪問し、島田昇社長にお話を伺いました。

有限会社秩父ワインは創始者・浅見源作氏の熱意により、昭和15年(1940年)にワイン造りに成功しました。その後は「秩父生葡萄酒」として、試行錯誤を繰り返しながら造り続け、昭和34年(1959年)にフランス人神父により「ボルドーの味」と賞賛されてから、秩父の銘醸ワインとして評価が高まりました。今もなお、その情熱は引き継がれ、名前とともに「源作印ワイン」として伝えられていました。

日中と夜間の寒暖の差に恵まれ、アルカリ性土壌のブドウ栽培に最適な環境で育ったブドウはカベルネ・ソーヴィニオンをはじめ、10種類ほどあり、1年間分の仕込みは9月末から10月中旬に行われ、その後は発酵の期間となり、よく寝かせたものは翌年11月頃、ビン詰め作業を行うとのことでした。720mlのワインは年間およそ10万本造られ、自社や小売店、問屋、ネット販売等で販売されています。

「ワインが一般的ではなかった時代に苦勞を惜まず、孫の代までに日の目をみればいい」と諦めずに作り上げてくれた創始者のおかげで今がある」と話す言葉に熱い思いを感じるとともに、地元を大切に、愛情を込めたワイン造りの「本物の味」を受け継ごうとする五代目のひたむきな

姿勢が80余年にわたる歴史を支えてきた証であると感じました。

わが社の主力商品

多くの方々に愛される「源作印ブランド」「GKTシリーズ」以外にも小鹿野町両神の自社農園で栽培した、「KARASAWA」シリーズや「山ぶどう」(ともに赤ワイン)「G-3 シャルドネ」白ワインは自社直売所でない入手困難な商品です。また巨峰の香りやさしい甘さが特徴の「源作印 巨峰ワイン」は限定生産の希少価値の高い商品となっております。



おすすめ商品! 源作印ブランド

▲金賞受賞 ちちぶワイン シュール・リー

ここに自信あり

秩父ワイン五代目の醸造するワインは毎年山梨で開催される「日本ワインコンクール」において、2017年の「源作印 秩父ワイン シュール・リー」白ワインの3年連続5回目の金賞受賞をはじめ多くの賞を受賞しています。

会社概要

- 代表者 代表取締役 島田 昇
- 従業員数 10名
- 創業 1940年
- 所在地 小鹿野町両神薄41
- 電話 0494-79-0629



五代目の島田社長(右)

町営住宅春日団地 入居者募集

- 募集戸数 ● 1戸(抽選)
- 物件構造 ● 木造2階建/2LDK/65.6㎡
- 所在地 ● 小鹿野町小鹿野1911番地 (小鹿野小学校西約100m)
- 募集期間 ● 1月15日(火)～25日(金)
- 家賃 ● 所得により決定
- 敷金 ● 家賃の3カ月分
- 駐車場 ● 2,500円/台(月額)
- 入居資格 ●
 - 現に同居し、又は同居する親族がいること
 - 所得月額が扶養控除後15万8,000円以下であること
 - 自ら居住するための住宅を必要としていること
 - 申込者本人を含む同居世帯の全員が暴力団員でないこと
 - 国・地方税を滞納していないこと
- 申込&問合せ ● 両神庁舎・建設課 ☎79-1204

子育てハッピー県営住宅 入居者募集

- 若い子育て世帯を支援するため、県営住宅に専用枠を設け、入居者を募集します。
- 対象 ● 夫婦がともに39歳以下の世帯(子どもの有無は問いません。)
- ※収入等の各種条件があります。
- 入居申込書 ● 両神庁舎・建設課で配布しています。
- 入居予定日 ● 3月23日(土)以降
- 申込&問合せ ● 1月21日(月)まで(消印有効)に入居申込書を埼玉県住宅供給公社に郵送してください。 〒330-8516さいたま市浦和区仲町3-12-10 埼玉県住宅供給公社 ☎048-829-2875

